

2022年度

安全報告書



蔵王刈田リフト

蔵王ライザワールド

蔵王ライザワールド株式会社

はじめに

平素より 蔵王刈田リフト 蔵王ライザワールドをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。 弊社では、「安全第一」を事業経営の基本に掲げ、社員一人ひとりが、索道輸送設備に対する安全確保の重要性を常に認識し、全社一丸となって事故防止への積極的な取組を推進しております。

本報告書は、鉄道事業に基づき、輸送の安全に関する情報を定期的に公表することにより、当施設における活動状況について皆様のご理解を深めていただくことを目的としております。

今後とも、安全でより快適な輸送を実現すべく鋭意努力してまいりますので、何卒、倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

安全基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員に周知・徹底しております。

- (1) 私たちは、一致団結して輸送の安全の確保に努めます。
- (2) 私たちは、輸送の安全に関する法令及び本規程をはじめ関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行いたします。
- (3) 私たちは、常に輸送の安全の状況を把握し、職務の実施にあたっては、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は、最も安全と思われる取扱いをいたします。
- (4) 私たちは、事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、すみやかに適切な処置をとります。

安全目標

「事故・トラブルの発生件数ゼロを目指す」

お年寄りや幼児は、抱えて降ろす。(蔵王刈田リフト)

始業点検、定期点検の確実な実施。(蔵王ライザリフト)

事故等の発生状況（2022年度）

- (1) 索道運転事故（索道人身障害事故）

2022年度の索道運転事故は、ありませんでした。

今後も継続して、事故防止に努めます。

- (2) 災害（地震や暴風雨、豪雪など）

蔵王刈田リフトは、強風悪天候の為21日間運休いたしました。

蔵王ライザリフトは、災害による運転停止はありませんでした。

(3) インシデント（事故の兆候）

2022年度、国土交通省へのインシデント報告はありません。

輸送の安全確保のための取組み

(1) 教育訓練

当社では、輸送や皆さまの安全に役立つよう、シーズン営業開始前に施設及び取扱いについての安全教育を実施しています。

(2) 救助訓練

毎年、シーズン営業開始前に、従業員一同にて教育訓練を実施しています。

(3) 安全確保のための諸施策

当社では、安全の維持・向上のため、整備等を実施しております。

2022年度に実施した主な整備は、次のとおりです。

蔵王刈田リフト 上駅アスファルト改修工事

握索機部品交換

蔵王ライザリフト

ペアⅡ 減速機オイル交換

エクスプレス 常用制動機部品交換

握索機定期オーバーホール

支柱塗装工事

当社の安全管理体制

当社では、輸送の安全確保のため、安全管理体制の最終責任者を社長とし、以下、全統括管理者、索道技術管理者及び索道技術管理員を配置(別表1)しております。

各役割・責任・権限は下記のとおりです。

- ① 社長 : 輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
- ② 安全統括管理者 : 索道事業全般の輸送の安全確保に関する業務を統括管理する。
- ③ 索道技術管理者 : 安全統括管理者の指揮の下、索道の運行管理、索道施設の保守管理、その他技術上の事項に関する業務を統括管理する。
- ④ 索道技術管理員 : 索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する。

ご利用の皆様へ

当社では、索道事業者として、安全確保は当然の義務であり、責任であるという考えから、安全管理規程の制定後、まず取組を強化したことは、現場重視の姿勢であります。

その為には、人材の育成が大切であり、教育及び日々の業務を通じて輸送の安全確保の重要性を強調していきます。

ユトリアグループ行動基準

1, 地域社会への貢献

私たちは、ひとつひとつの出会いを大切に、豊かなくらしと魅力ある地域づくりに貢献します。

2, 顧客満足度の向上

私たちは、お客様の声に耳を傾け、安心と満足を提供します。

企業価値の高揚

3, 私たちは、時代の変化に適応し、未来に挑戦しつづけます。

ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組に対するご意見をお寄せ下さい。

〒999-3113

山形県上山市蔵王坊平高原内

蔵王ライザワールド株式会社

TEL 023-679-2311

FAX 023-679-2316

E-mail zao@zaoliza.co.jp